

## 西大巔南西尾根パウダー山スキーツアー

【山城】吾妻連峰西大巔

【日程と天気】2020年2月2日(日) 晴れ時々雪

【メンバー】CL 菊池・SL 池田(継)・石橋・渡辺(俊)・瀧瀬・伊藤(会員外)・飯郷(会員外；記録)

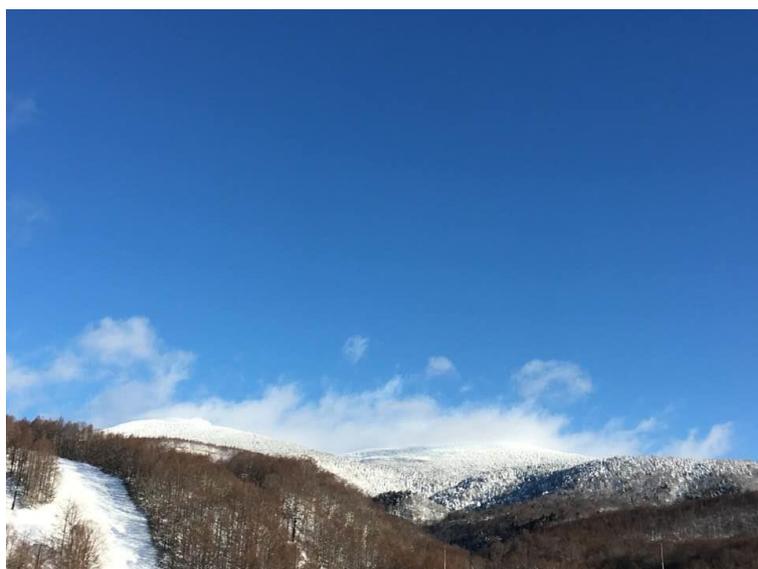
### 【行程】

グランデコスキー場駐車場—ゲレンデトップ 930—西大巔山頂 1130—東斜面ディープパウダー滑走終了(標高差 100m) 1154—シール登高終了(標高差 70m) 1230—標高 1340m まで南西尾根滑走終了 1410—登山道をシール歩行してゲレンデ復帰 1509—ゲレンデ滑走終了 1535—駐車場

- ・出会いは偶然。人生はさまざまな偶然の上に成り立っているとつくづく思う。CLの菊池さんに出会ったのは2017年6月3日。道の駅風穴の里であった。この年の5月に二十数年ぶりに山スキーを再開しばかりの私は、高校の後輩と乗鞍岳に向かうべくテントを張って寝た。翌朝目を覚ますと隣にテントが増えている。車は千葉ナンバー。後輩と菊池さんが話しているところに私も加わった。「ちば山の会」。高校の大先輩、広木愛子さんが所属する会であることがただちに判明。菊池さんと高校の先輩と勤務先が同じであることも判明。世の中は狭い。翌週、単独で再び乗鞍岳を目指したところ、駐車場の隣止まった車から出てきたのは菊池さんだった。かくして、ちば山パーティーと同行することになり、必然的に菊池スキー学校の生徒となった。

残雪期「山屋」スキーヤーの私は、パウダー滑走の経験がなかった。誘われて参加した2017年11月の立山は悪天候で敗退。2018年12月のかぐら田代で開催された山スキー講習会から修行が始まった。菊池さん、石橋さん、池田さん、そして四国の岡田さんのアドバイスで苦行だったスキー滑走が楽になり、2018年12月から2019年2月にかけてグランデコ、妙高前山、赤倉山、鍋倉山でパウダー修行。山行計画書に「会員外」として記載されること22回目(!)。

- ・直前まで行先が四阿山と揺れ動いたが、菊池さんの最終判断で吾妻連峰の西大巔、パウダー滑走のメッカのひとつへ出かけることになった。



栃木組は渡辺さんの車でグランデコへ。到着して連絡すると千葉組も新潟組もすでに到

着. 西大巔山頂方面は青空でテンションが上がる. ただちに準備してリフトを乗り継ぎ  
トップへ. シールを装着していざ西大巔へ. 周りにいた郡山のパーティーのメンバーに  
は菊池さんと森吉山と一緒にいった方も. 世の中狭い.



足元はパウダー50cm ふかふか. 期待が高まる. 上りのルートは樹間が狭く, 滑走するに  
はしんどそう.

後続パーティーの先頭の大ベテラン山スキーヤーに話を伺いながら登っていた. 「どこか  
ら来られたのですか?」と聞くと「福島から」. 「もしかして福島登高会ですか?」と何  
うとピンポン! 直前を歩く池田さんが振り返り, ご挨拶. 先日秋田駒に出かけられた時  
のCLのIZさんでした. さらに, 先頭に行く菊池さんとはもちろんお知り合い. 本当に  
世の中は狭い.

1940mの偽ピークは左から巻いてオープン斜面経由で登る. このあたりのルート取りは  
経験者でないとわからない. モンスター発達中.



ガスがかかって視界が悪くなった状況で西大巔山頂到着. 風が強くて寒い. 冬型が緩ん

できたとはいえ、西風が当たる。山頂直下から菊池さんは東斜面の弱層をチェックして登られていた。見習わなければ。

- 少し視界が悪くなったが、東斜面ドロップインのゴーサインが出たのでシールオフして順番にディープパウダーに飛び込む。一番へたくそな私は最後にボトムにたどり着く。菊池さんの指示でディープパウダーはまっすぐに落としても大丈夫だということをようやく理解し、最後の最後に納得の滑り。快適。何事も経験が大事。次回はもっと上手く滑れると確信。



シールをつけて標高差 70m を登り返し稜線へ復帰。上りのルート取りは高齢者に配慮したジグザグを切るように菊池さんが指示していた。若い体力のある人はまっすぐ急傾斜を上りたがる（池田さんのことです）。



福島登山会の IZ さんたちは南西尾根に先週入ったとのことで、情報をいただいた。下部はヤブだったが、雪もだいぶ降ったので大丈夫だろうとのこと。いざ南西尾根へ。滑走開始のオープンバーンの積雪は 225cm.

雪も舞い始め、上部の風の当たる場所は寒い。シラビソ林に入ると風も弱まり快適。下部はブナ林。GPS を見ながら左右の沢に降りないように滑走する方向を考え、パウダーツリーランを楽しむ。快適快適。ただ、先頭に行く菊池さんのルートファイディングは大変だったと思う。最後尾 3 人組（伊藤さん、池田さん、飯郷）は行先を見定めて一番良さそうな斜面をつなげた。



標高 1340m で無事登山道に出る. この日の南西尾根に入ったパーティーは他になかった模様.

シールを付けて登山道ラッセルを楽しむ. 枝に付いた雪を払うと枝が一気に持ち上がって元に戻るのを楽しむ. ピンポイントで沢を渡る橋を探さなければならない状況だったが, 山屋の経験を生かし, 難なく発見. 雪で高ゲタになったスリリングな橋を渡り, ゲレンデ復帰. デコ平が近づくと青空が戻ってきた. あとはゲレンデ滑走にて無事下山. メンバー一同大満足の 1 日でした.



私自身はこれまでの修行の成果もあって、人生最高のパウダーを楽しむことができました（このときは6日後の2/8 梅池自然園上部ですぐ更新されるとは思いもせず）。菊池さん、みなさん、ありがとうございました。ちば山のみなさま、これからもよろしくお願いします。

(飯郷記)

